

# 文教いしかわ

BUNKYO ISHIKAWA 石川県文教会館 2016.8 No.74



## －特集－

- 1 頁：未来を拓く心豊かな人づくり 石川県教育委員会教育次長兼教員指導力向上推進室長 平島 敏彦氏
- 2 頁：北陸新幹線金沢開業1周年。ここからが本番！ 石川県観光戦略推進部誘客戦略課長 竹内 政則氏
- 3 頁：静かに忍び寄るネット社会での脅威～総務省主催サイバー防御演習に参加して～ 文教会館館長 宇都宮 博氏
- 4・5頁：インタビュー「人」 民謡歌手 高田 雅子氏



## 「未来を拓く心豊かな人づくり」(第2期石川の教育振興基本計画)

石川県教育委員会教育次長兼教員指導力向上推進室長 平島 敏彦

平成28年3月に「第2期石川の教育振興基本計画」が策定されました。皆様方に、この計画が策定された趣旨や位置づけ、策定のポイントについてご紹介し、最新の本県教育行政について触れたいと思っております。

この「教育振興基本計画」は、教育基本法の理念を教育施策として具体的に実現していくための10年を計画期間とした総合的で体系的な計画です。

本県では、平成23年に「石川の教育振興基本計画」を策定しましたが、昨年度、計画の中間年である5年目を迎え、この間の社会情勢の変化や教育をめぐる新たな課題に対応していくため計画内容を見直し、平成28年度以降の教育行政の指針となる新たな計画を策定いたしました。また、この計画は「石川県新長期構想」を踏まえた教育分野の指針であり、知事が策定する「石川の教育大綱」としても位置づけられたものです。

基本理念は「未来を拓く心豊かな人づくり」であり、目指す人間像は「ふるさとに誇りを持ち、広い視野にたって社会に貢献する人間」「生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身につけ、個性や創造性に富む人間」「責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間」「健康や体力の増進に努める、活力ある人間」の4つを掲げています。それでは8項目の基本目標の改定のポイントについて説明いたします。

まず、基本目標1では、地方創生の動きを踏まえ、本県の伝統と文化を尊重し、郷土を愛する心を持って、石川の魅力を広く伝える力を養うとともに、「地域の活性化に貢献できる人材の育成」、「地元の企業や大学と連携した人材の育成」を方針としました。

基本目標2では、確かな学力の育成を図るために、「高校の学力スタンダードによる学力の質の確保」、「小中学校の学びの指針12か条の改定」、「アクティブラーニングの推進」、「ICTの活用等による新たな学びの推進」を方針とし、また、実社会に必要な能力として、選挙権年齢引き下げに伴う高校生の「主権者教育」の取組を明記しました。

基本目標3では、道徳の教科化を踏まえ、「道徳の

指導法の改善」、「いじめの未然防止」、「不登校を生み出さない学校づくり」にしっかりと取り組むこととしています。

基本目標4では、教員の急激な世代交代を踏まえ、「優秀な教員志望者の確保と養成」を掲げ、「いしかわ師範塾」を新たな取組として明記し、即戦力となり得る人材の育成に取り組むこととしています。また、「学校の組織的な対応力の向上」の中に、「チーム学校の推進」の取組を明記しました。

基本目標5では、大学コンソーシアム石川の活動を支援し、「地域に必要な人材」、「グローバルな人材」など次世代の石川の担い手の育成をめざすこととしています。

基本目標6では、家庭の教育力の低下が指摘されていることを踏まえ、子どもの協調性や自制心、やり抜く力など、学習面における「非認知能力」の育成に取り組むこととしています。

基本目標7では、県民の生涯学習活動を支える環境の整備・充実を図るため、県立図書館の移転・建替による機能の強化を図ることとしています。

基本目標8では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えて、国際大会や全国大会等において活躍できる若手アスリートの育成や事前合宿の誘致をめざす市町や競技団体と連携した誘致活動の推進など「東京オリンピック・パラリンピックを見据えた取組の充実」を掲げています。

今後は、この計画が「石川の教育大綱」であることを踏まえ、石川の教育力を一層向上させる実効性のある施策を展開してまいりますので、県民の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



第2期石川の教育振興基本計画



## 北陸新幹線金沢開業1周年。ここからが本番！

石川県観光戦略推進部

誘客戦略課長 竹内 政則

2015年(平成27年)3月14日に北陸新幹線が金沢まで開業し、その効果は、金沢のみならず県内全域に波及し、本県は首都圏をはじめ全国からの多くの観光客で賑わいました。今年の3月には、JRとのタイアップによる「北陸新幹線金沢開業1周年キャンペーン」が始まり、ゴールデンウィーク期間中の賑わいは、開業効果が持続していることを証明しました。

県では、2005年(平成17年)に策定した北陸新幹線金沢開業に向けた観光施策の指針となる「新ほっと石川観光プラン」に基づき、さまざまな誘客施策に取り組み、最終年となる2015年(平成27年)末にプランの目標である観光入り込み客数2500万人を達成すると同時に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会や北陸新幹線の敦賀延伸などの環境変化を見据えた今後10年間の観光施策の指針となる「ほっと石川観光プラン2016」を今年の3月に策定し、取り組みを開始しました。

新幹線の開業効果は、開業ブームで賑わう1年目よりも、2年目の落ち込み対策の方が重要であると言われています。北陸新幹線の開業効果を持続・発展させる取り組みは、まさに開業2年となる今年からが本番だと言えます。

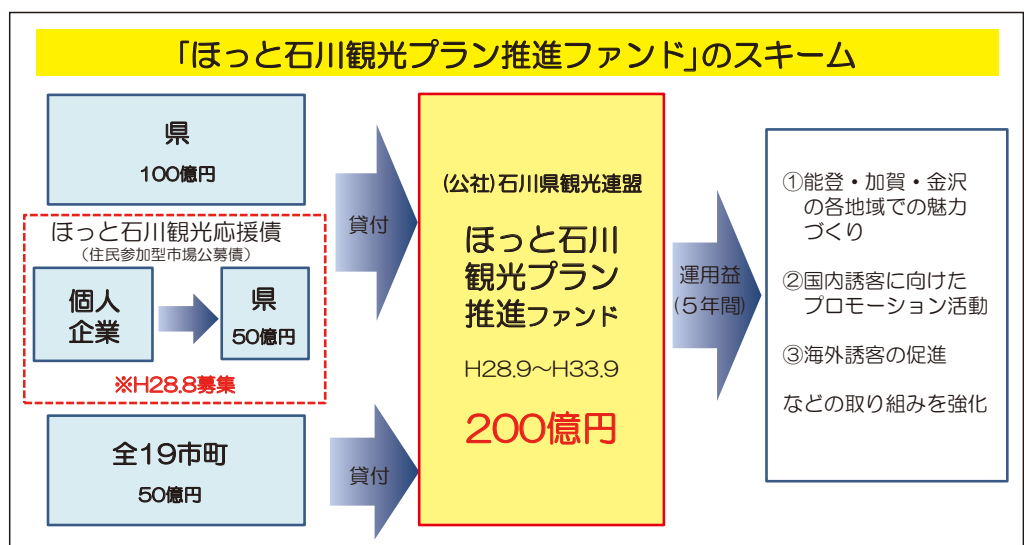
取り組みの中でも最も大切なことは、行きたいと思わせる、地域の魅力づくりです。石川は加賀百万石に育まれた伝統工芸や芸能、加賀料理など、奥が深い文化が連続と受け継がれており、歴史的な街並み、能登の里山里海や霊峰白山の恵みなど、魅力的な観光資源に溢れています。これらの受け継がれた宝を磨き、最大限活かして、国内外から何度でも訪れる石川ファンを増やしていくことが大切です。

また、新たな魅力

づくりも重要です。昨年3月に県の観光ブランドプロデューサーに就任頂いたシンガーソングライターの松任谷由実さんの協力を得て5月から6月にかけて初めて実施した「石川ロックサミット」は、世界的に20世紀最大のカルチャーと言われるロックをテーマとした新たな魅力づくりとして実施したもので、石川が世界に誇るオーケストラアンサンブル金沢とのコラボレーションなど新たな音楽文化の発信にも取り組みました。

今後は、JRと北陸三県が連携して行う秋の「アフターデスティネーションキャンペーン」(仮称)に引き続き、例年実施している冬の「ジャパニーズビューティー北陸キャンペーン」といった誘客キャンペーンを切れ目なく展開し、これに合わせて、兼六園や金沢城公園のライトアップ、「スイーツ博」、「能登ふるさと博」、「加賀四湯博」など、年間を通した魅力的な地元イベントを開催し、石川の旅を大いに楽しんでもらうことで、石川ファンになって頂くための取り組みに知恵を絞ってまいります。

こうした取り組みを財源面から支援する仕組みとして、9月に200億円の「ほっと石川観光プラン推進ファンド」を創設予定であり、県民の皆さまにもファンド造成に参加頂く「ほっと石川観光応援債」の募集を8月に予定しておりますので、是非、官民を挙げた石川の観光を応援する取り組みへのご参加をお願いいたします。







## 静かに忍び寄るネット社会での脅威 ～総務省主催サイバー防御演習に参加して～

文教会館 館長 宇都宮 博

### 1 はじめに

受け取ったメールがご自身にとって興味のある言葉にあふれており思わずクリックし、結果不審なメールが多数送られてきた経験などありませんか。インターネットがビジネスや日常生活に欠かせないツールである一方、近年、情報漏洩やオンライン犯罪などネットワーク化にともなう脅威が急速に広まっています。我が国でも機密情報や個人情報などの漏洩事件が多発しているほか、安易なパスワードやシステムの脆弱性を狙ったWebシステムへの不正侵入、Webサイトのデータベースなどを狙ったネットワーク攻撃、さらにはフィッシング詐欺など金銭目的の悪質なネットワーク犯罪も増加しています。昨年起きた、「日本年金機構の情報漏えい事件」は社会に大きな影響を与えました。

総務省では、昨今の官公庁や大企業等を狙ったサイバー攻撃の増加を受け、官公庁・大企業等のLAN管理者のサイバー攻撃への対応能力向上のため、研修のカリキュラム作りを北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）とNECが行い、演習用の仮想サイバー空間をJAISTが提供することで実践的サイバー防御演習を実施しています。能美



市の石川ハイテク交流センターを会場としても開催され、主催者の好意で、某ネット銀行のセキュリティ対策チームと共同で参加しました。

(<http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/102603511/?rt=nocnt>)

### 2 防衛演習シナリオ

演習内容は、自分の所属する組織が「標的型攻撃メール」に襲われたという想定に基づき、日本年金機構で実際に起きた事件を参考にして事故処理に対応します。演習では、「サイダー省」のLAN環境に届く標的型攻撃メールやそこから生じる不審な通信内容などを解析しながら対策に当たります。具体的なシナリオでは、外部から「サイダー省」のメンバーに「マイナンバー等に関連する参考資料」の送付からの標的型メール攻撃が始まります。担当者は不審なメールである気持ちはありながら、そのメールにある添付ファイル

をクリックして感染が始まります。その添付ファイルは、「件名」とは違いネットワークの外部にあるC&Cサーバと通信を行う「マルウェア」（悪意のあるソフトウェアの意味）であったという想定です。「サイダー省」のネットワーク管理者がこの不審メールの噂を聞きつけて、ネットワークの通信記録を調べると、国外に存在するある特定のサーバと決まった時間に交信している事実を把握します。「サイダー省」の関連するエリアのネットワークを遮断し、対象となる「マルウェア」の特定を行い、その「マルウェア」がどのような挙動をするのかを調査し、外部から遠隔操作で流失した情報内容を特定し、その後の対策を講じます。全ては、不審メールの添付ファイルへの何気ないクリックが重大事故を招いたのです。



### 3 脅威の见えない化

コンピュータ黎明期の「マルウェア」は、感染した相手を驚かすだけのウイルスなど、直接的な被害がないものも多くありました。その後はパソコンの普及とともに、パソコンの動作に悪影響を与えたり、ハードディスクを破損させたりといった迷惑行為を行うタイプが多く登場し、社会的な問題となりました。このタイプのものは被害者に被害を知らせることが目的であり、あるいは隠そうとしないため、パソコンへのマルウェア感染に気づきやすいのが特徴で、愉快犯的色彩の濃いものでした。

近年の「マルウェア」は、ネットワークのセキュリティ機器だけでは検知できない標的型メール攻撃などの脅威は増えています。侵入してくる「マルウェア」は無害なものを装ってネットワーク内に侵入しパソコンに内在します。そのままにしておけばセキュリティ対策ソフトで駆除される場合もありますが、何かのきっかけでこの「マルウェア」をクリックするとそのことがトリガーとなって感染が始まります。このようにネット社会での利用者への脅威は静かに、そして密かに増しており、脅威の「見えない化」への対策、利用者の意識の醸成が急務です。



## 民謡歌手 高田雅子さん

金沢市出身。財団法人日本民謡協会公認 民謡・三味線教授。5歳の時母親に連れられて町内の民謡教室に行ったのが民謡との出会い。平成7年NHK邦楽オーディション合格。平成26年民謡民舞全国大会民謡成年部旗戦において国土交通大臣賞（優勝）受賞。

インタビュアー 文教会館 館長 宇都宮 博



館長 演奏の機会などは、どのくらいあるのですか。  
高田 年に30回程度でしょうか。6月の百万石行列の出発式にも唄わせて頂きました。大学の留学生対象の講義や、ボランティアで、お弟子さんを連れて地域の老人ホームなどにも行かせてもらっています。

### ～最初は声づくりが大切～

館長 民謡との出会いはどうでしたか。やはり、基礎基本からですか。

高田 実は最初に習ったのが秩父音頭という、子どもには難しい曲でした。当時は民謡ブームで習う人数が多いものですから、子どもも大人と一緒に唄ってみなさいといったかんじでした。今は子どものお稽古は大人とは別にして易しい曲からやっています。

館長 お稽古の入り方はどのようにされているのですか。

高田 初心者でも経験者でも、こね回すような複雑な唄から入ることはありません。どの方も最初は声をつくる（民謡の声の出し方）ところからです。自転車のハンドルさばきが上手でも、漕ぐ力がないとどこにも行けません。ですからまず、土台となる声をきちんと作ることが上達の一番の近道です。

館長 声づくりの次の段階はどうするのですか。

高田 発声を確認しながらこぶし等の稽古に入ります。でもどうしても華美に走るといふか、ちょっと自転車が乗れたら蛇行運転がしたくなったりしますが、そうならないように、でもある程度技巧を入れながら、例えばこぶしを分解してこれはこうだよといったように練習していくとか、という段階に入ります。

館長 修業されていて、つらかったこと苦しかったことはありますか。

高田 いろんな人の批評に耐えていかなければならないことでしょうか。批評を気にしすぎてどう唄えばいいかわからなくなったり、妙な技巧に走ってみたい。結局は自分で折り合いをつけていかなければならないと気づくまでが辛かったですね。

### ～民謡の伝承～

館長 県教育センターで音楽科の先生方対象の研修の講師もされたということですが、どのような内容だったのですか。

高田 民謡と三味線です。三味線のバチは打ちにくかったようですが、先生方は音感もありますし、それほど大変ではなかったようです。しかし民謡は地声で歌うというのが相当違和感があって難しかったらしくて、皆さん苦勞されておられましたね。学習指導要領では、歌唱教材として、民謡、長唄などの伝統的な歌唱を取り上げる必要があるそうなんです。

館長 民謡は発声から違うのですね。

高田 民謡は民衆の生活のなかで生まれ育った歌です。作業するときに鼻から抜けるような感じでは歌いませんよね。ソーラン節みたいに網を引くときにあわせる、そういった時に話し声が大きくなって行って、それに音階がついて民謡になったと考えられています。

館長 話し声やかけ声の延長が、働くリズムなどに結びついて民謡になったと。

高田 はい。だから、しゃべっている声のまま、作業唄的に歌う場合は荒いかんじに、山中節のようなお座敷で唄うものは、それにあったように唄います。外国の建物は石でできたりして音が響きますが、日本の家は、泥の壁や木など音を吸収する素材でできているのも関係していると思います。

館長 学習指導要領が改訂されたことに対してどう思われますか。

高田 民謡がより広まってくれればいいと思っていますが、今のところはそれでどうという波はまだきていません。将来民謡をやりたいという子がきたりするといいですね。小さい時にちょっとでも触れたことのあるものは趣味の選択肢の1つになりますから。

館長 民謡の音階はどうなっているのですか。

高田 三味線には三本の線で書かれた文化譜というものがありますが、民謡はそもそも音階に表せないものなんです。五線譜になっているものもありますが、その通り歌うと民謡らしく聞こえない場合もあります。

館長 微妙な所は口伝なんですよ。

高田 はい、書いて伝えられない所がある。ですから、昔の人が伝えていく中で微妙に変わっていくのはわかりますね。特に山中節みたいなゆったりした曲だとなかなか覚えられないと思います。最近では録音の機械



も発達してきていますが、録音したものでは、音の微妙なニュアンスまでは伝わらない。ここはこうですよと言われて初めて伝わります。

### ～民謡が力を与えてくれるとき～



**館長** 長く続けておられて、達成感や充実感はどうのときに感じられますか。

**高田** おとし、国技館で国土交通大臣賞という成年の部の最高賞を頂いたときは、もちろんうれしかったですけれども、一番印象深いのは、叔父の前で唄ったときのエピソードです。叔父は事故で首から下が動かなくなって寝たきりになってしまっていて、あるとき親戚一同集まったときにも、ストレッチャーで運ばれて参加していました。叔父はすごく民謡が好きだったので、何か歌ってあげてといわれて、特にここをこめてというわけではなかったのですが、唄ったところ、叔父がぼろぼろ泣いて動かないはずの手を叩こうとして。居あわせた皆は凄い、どんなリハビリよりもよかったといわれて。自分の唄でそこまで感動してあげることがあるんだと思いました。あとは、楽屋に訪ねておいでた方の中に、一言「救われました」といわれて帰って行かれた方がいらっやして。何があったか分からないですけども、唄ってよかったなど。心を動かしたり、その人の人生に触れて、ちょっと背中を押したりすることもあるのかなど。だから、お弟子さんにもコンクールを目標にしないでくださいといっています。我々は長い道のりを歩いていて、コンクールは道端に咲いている花みたいなものだって。コンクールを目標に唄っていると、最高賞をとってしまったらもうどうすればいいのとなってしまうたり、逆に唄がぎすぎすしてきたりするんですよ。

### ～石川の民謡～

**館長** 民謡の世界では新幹線効果を感じることはありますか。

**高田** 特段実感としてはありませんが、他県の民謡をやっている人から問い合わせがあったりします。富山県の越中おわら節なんかは有名ですけども、石川の民謡は派手なものあまりなくて。意外といい曲あるんやねって、いってくれたりして。新幹線効果で、石川県に興味をもってくださいだからじゃないでしょうか。

**館長** 石川県の有名な民謡にはどのようなものがありますか。

**高田** 山中節と能登麦屋節、能登舟こぎ唄などが有名

ですね。石川県民謡協会と教育委員会が調べたら、石川県には一千曲民謡があるそうです。中には廃れてしまっていて無くなった曲もあると思います。

### ～後輩の指導-続けることが大事-～

**館長** 後輩の人材育成の取組はどのようなことをされていますか。

**高田** うち、今2歳から12歳までの小さい子がお稽古に来ています。来てくれること自体うれしいですが、やめないように続けてもらうことを大事にしています。やめたとしても、大きくなってまた、こようと思ってくれるように。そんな子が増えればいいなど。また、近所の子が一人来ているんですが、お稽古で三味線を弾いているのを近くまで来て外で聞いていたらしくて、お母さんに連れられて来ました。聞いたらいぶ前から外で聞いていたと。そんな風に聞く機会があれば、好きになってくれる子がもしかしたらもっといるのかなと思います。聞いたことのないものは好きになりようがありませんよね。若い人達が続けたいなと思える環境を整えていきたいですね。

**館長** 続けることが大切なんですよ。

**高田** お弟子さんにも器用な人と不器用な人がいて、不器用な人は器用な人を羨ましがることが多いです。でも、不器用な人はこつこつとやるので、器用な人にはない味があります。いぶし銀みたいな輝きを持っているのに自分ではなかなか気がつかない。

**館長** 心理学で「プラトー現象」というのがあるんです。スキルの習得は学習の量に比例しているわけではなくて、学習の成果が見られない状態におちいる期間がある。問題はここの間我慢しないとイケない。教育も同じです。ちょっと勉強してそれで伸びればみんな天才ですよ。なぜ、差ができるかということこそ我慢できるかどうかです。プラトーを経て次のステージに上がる。

**高田** 続けられること自体が才能ですよ。

**館長** 今後の抱負をお聞かせください。

**高田** 今83歳から2歳までお弟子さんがいます。楽しいから歌うのが一番いいんですけども、辛いから歌うときもありますよね。どの年代でも、その年代に応じて民謡に心慰められる人のあり方が違うと思いますが、そんな場所を提供できて、みんな楽しんだり、慰められたり、唄って明日も頑張ろうと、どんな感じ方でもいいんですけどもそんな風に思えるお弟子さんがたくさん増えていったらいいと思っています。

**館長** ありがとうございました。今後、ますますのご活躍をお祈りしております。



事業報告

## 2016年度 文教国際理解講座

アメリカ・カナダ・韓国・中国出身のネイティブスピーカーの指導で、外国の言葉や文化を学べます。定員に空きのある講座には途中入会ができます。お申し込み前に見学もできますので、お電話でお気軽にお問い合わせください。

**実施期間：**2016年5月～2017年2月  
**対象：**教職員、一般、高校生  
**定員：**1講座 20名  
**受講料：**年額36,000円(年35回)(教材は実費負担)  
 ※途中入会の方の受講料は入会後の回数分となります。

◇講座時間割 ※韓国文化・中国文化は19:00～20:40

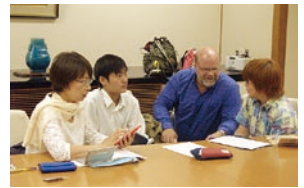
	10:00～11:40	18:30～20:10
火曜日	英米文化 中級	英米文化 準中級 英米文化 上級
水曜日	英米文化 準中級 英米文化 中級	英米文化 準中級 韓国文化 初級※ 中国文化 初級※
木曜日	英米文化 初級 英米文化 準中級	英米文化 初級 英米文化 中級

☆ホームページから募集要項等をご覧ください。

文教国際理解講座



コンソロボ先生 (英米文化)



タスケン先生 (英米文化)



イム先生 (韓国文化)



リョウ先生 (中国文化)

### 受講生の声

英米文化では、プレゼンやグループディスカッションをする中で、話す力や質問する力がついてきたように思います。色々な年代の方と交流できるのも魅力です。

## 教育資料収集整理事業

当財団では、本県の教育の足跡の顕彰と活性化に寄与していきたいと考え、県内に存在する貴重な教育資料を収集し、保管や展示を行っています。江戸時代に藩学で使われていた書籍や明治時代の教科書をはじめ、教育文献・教育物具等、収集数は5万点を数えます。これらの教育資料は当館の資料展示室や物具室で閲覧することができます(要予約)。1階ロビーにおいても随時、収集資料の紹介をしています。

また、年間を通じて県立学校の活動の紹介等を行うロビー展や、11月の教育ウィーク期間中にはどなたでも参加できる教育史セミナーを開催し、多くの県民の皆さまに教育に対して関心と理解を深めていただけるようつとめております。当館へぜひともお立ち寄りください。



ロビー展

\*ロビー展の様子は当館ホームページをご覧ください。

蔵書リストは当館ホームページよりダウンロードができ、ご自由にご覧いただけます。

資料展示室



物具室



### \*お願い\*

学校やご自宅で廃棄予定の古い教科書や教具等の教育資料を当館にご恵贈ください。

石川県文教会館 TEL.076-262-7311

文教会館教育資料

### ロビー展出展団体の募集

学校や団体等の活動紹介、絵画・習字・工作等の発表に当館のロビー展をご活用ください。

### 推進委員会と資料調査員会



当事業の充実を図るため8教育団体※のご協力を得て、年2回の推進委員会(写真:左上)と年1回の資料調査員会(写真:右上)を開催しています。

委員の皆さまからは、教育資料の収集整理・活用に関するご意見や小中・高等学校等の資料の情報等を頂戴しています。

※県小中学校長会・県高等学校長協会・県退職校長会・県高等学校退職校長会・県PTA連合会・県高等学校PTA連合会・県教育振興会・県特別支援学校長会



## 事業紹介

## 2016年度 文教アートウェイブ

文教アートウェイブとは、地域文化の振興を図ることを目的に、地域で活躍する芸術文化団体に舞台発表の場を提供する文教会館事業です。今年度も感動のひとつときをお届けします。

・忠縄美貴子教授活動20周年・スタジオ開設10周年記念公演  
[Aniversario de Estrella] ～星の記念日～(6/12)

フラメンコスタジオ・エストレージャを主催する忠縄美貴子さんとスタジオ生達の踊り、そしてゲストアーティストのカンテ(唄)、ギター、バイオリンの情熱的な時には哀愁を帯びた音楽に、会場が魅了されました。足でリズムを刻み手を叩くインパクトのあるリズムや、音楽を感じてあふれ出る踊りで、強烈な印象を与える熱いステージとなりました。





【ゲストアーティスト】カンテ(唄)/川島桂子・永瀧三貴生  
バイオリン/三木重人 ギター/鈴木敦弘・高坂文彦

・金沢高等学校 サマーコンサート (7/16)


吹奏楽部とバトントワリング同好会の、若さあふれるステージでした。



## ☆☆今後の公演予定☆☆

- |                  |            |               |   |
|------------------|------------|---------------|---|
| ◆金沢桜丘高校吹奏楽部      | クリスマスコンサート | 12月17日(土)     |    |
| ◆バレエの街コンサート2017  |            | 平成29年1月15日(日) |   |
| ◆石川県立金沢泉丘高等学合唱部  | 第8回定期演奏会   | 平成29年3月25日(土) |   |
| ◆Dreaming Chorus | 演奏会        | 平成29年3月26日(日) |  |

※ホームページから今年度公演の詳細や過去の公演一覧、来年度の募集要項等をご覧ください。

文教アートウェイブ 検索 

## 文教アートウェイブ公演募集

文教アートウェイブ事業では、地域文化の振興を図ることを目的に、演劇や演奏会等の公演を希望される方にホールについて利用料と冷暖房費を無料でお貸ししています(照明設備費・舞台技術費等有料)。リハーサルを含む3日間までご利用できます。

詳しくは文教会館事業課までお問い合わせください。 TEL(076)262-7311

## 文教会館の施設のご案内

590人収容の大ホールをはじめ、会議室、和室、応接室等、様々なお部屋がございます。会議や研修、校外学習の休憩場所などにもご利用頂けます。

## 〈利用申し込みについて〉

予約開始日：1年前から可能

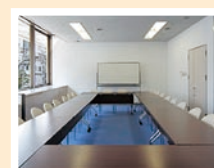
受付時間：9:00~18:00

予約方法：直接窓口に来館されるか、お電話でご予約下さい。

※詳しい内容や利用料金につきましては、文教会館までお問い合わせ下さい。ホームページからもご覧になれます。



大ホール



204会議室



4階和室大会議室

## 第29回 いしかわ県民陶芸展

## — アマチュア陶芸作品募集 —

県内のアマチュア陶芸愛好家の皆様、作品の創作・展示・鑑賞を通して、陶芸の楽しさや豊かさを発見しませんか。

石川県にお住まいの方ならどなたでも応募できます。初心者の方も大歓迎です。小さなお子様からご高齢の皆様まで、ぜひ、ふるって作品をお寄せください。お寄せいただいたすべての作品を展示します。どうぞ、発表の場としてご活用ください。

### ■作品応募について

- 作品規定**
- ・未発表の自作品（1人1作品のみ）
  - ・一辺が50cm以内、縦横高さの合計が120cm以内
  - ・団体作品は、展示時に90cm×90cmの範囲内
- 受付日時** 平成29年1月15日(日) 10:00～17:00
- 受付場所** 石川県文教会館
- 出品料** 一般：2,000円、青少年（20歳未満）：無料
- 審査員** 浅蔵五十吉 飯田雪峰 大樋長左衛門（敬称略）

応募要項・応募票は、石川県文教会館にあります。  
当館のホームページからもダウンロードできます。

### ■作品展示について

- 展示期間** 平成29年1月21日(土)～29日(日)  
9:00～17:00（最終日は15:00まで）
- 展示会場** 石川県文教会館
- 表彰式** 平成29年1月22日(日) 13:30～15:10 石川県文教会館  
◇賞状授与：大賞、石川県教育委員会賞、理事長賞等  
◇審査員による講評・作品解説
- その他** 展示期間中、入場者の投票による「わたしの選んだ一点賞」を実施します。投票された方には抽選で記念品を贈呈します(若干名)。



入場無料

第28回 大賞「8月のおひるね／12月のおひるね」  
關田 紘代／堀岡 真（県立七尾特別支援学校）



第28回 審査会の様子



作品展示の様子

主催：公益財団法人石川県文教会館

後援：石川県、石川県教育委員会、金沢市、北國新聞社、NHK金沢放送局、北陸放送、テレビ金沢、エフエム石川、ラジオかなざわ、ラジオこまつ、ラジオななお、FM-N1

## 「いしかわ教育ウィーク」関連行事のお知らせ

### 教育資料ロビー展

文教会館所蔵

### 「算数・数学」教科書のあゆみ展

期間：11月1日(火)～7日(月)  
会場：石川県文教会館1階ロビー

当館が所蔵している明治から現代までの教科書約5,700点の中から、「算数・数学」の教科書を中心に展示します。



入場無料

### 「教育史セミナー」開催

日時 11月4日(金) 14:30～16:00  
会場 文教会館4階大会議室  
講演 演題「加賀一向一揆」  
講師 西田谷 功氏  
(元石川県立鶴来高等学校長、  
元鳥越一向一揆歴史館長)

参加費 無料・申込不要

加賀一向一揆の始まりから終焉までの歴史を追い、特に最後まで愚直に加賀一向一揆を支えた白山麓の門徒、山内衆の活動を紹介していただきます。

